

「 さ さ え 」

2022年10月発行 情報誌 第81号

発行 NPO福祉用具ネット事務局

住所: 福岡県田川市伊田 4395 (福岡県立大学内)

TEL/FAX: 0947-42-2286

E-mail npo-fukusiyounet@sage.ocn.ne.jp

URL <http://npofukusiyougu.sakura.ne.jp>

情報誌「ささえ」は年4回(1月・4月・7月・10月)発行しています。

印刷 ヨシミ工産(株) 北九州市戸畑区天神1丁目13-5

福祉用具はあなたの自立をささえます。

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします。

NPO福祉用具ネットの主な事業は、研修事業とものづくり支援です。

発売中の開発協力品

アイクオーク(株) 発売中
詳しくは、HP参照下さい!

前面吸気タイプ
SIGNAGE
サイネージ

除菌装置



揺動ベッド



(有) ラック発売中

洗髪シャワー

NPO福祉用具ネット開発品第1号

【製造元】(株)福祉SDグループ

【販売元】キヨタ(株)発売中



NPO福祉用具ネットは、抱え上げない介護技術を推進します。令和2年度・3年度福岡県ノーリフティングケア普及促進事業を受託!



これまでの開発協力品 (現在は製造中止)



アルファブラ
ソラクッション



尿吸引ロボ「ヒューマニー」



特定非営利活動法人

NPO福祉用具ネット

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育てていきたい…」

コミュニケーションロボット

ユメル君とばあーちゃんのびっくり会話 Part 2

NPO福祉用具ネット 副理事長 坂田 栄二

前号の振り返り

前号では、おむつ導入の過程を紹介した。ばあーちゃんの尊厳を損ねる内容になることは承知の上で、皆さんの参考になればと思い、あえて紹介した。

その内容は次の通り。

- ① 初めての失禁
- ② おむつへの切り替えの決断時期
- ③ 紙おむつと紙パンツのどちらを使うかの選択
- ④ 白色とベージュ色の選択
- ⑤ おむつを使うことになったことの伝え方
- ⑥ 一人で履き替えできるか、その環境
- ⑦ 吸水ポリマーのむしり取り
- ⑧ ポリマーをトイレに流して詰まらせる事件
- ⑨ 使用済おむつの処分の難しさ

これらはずか1か月程度の間の出来事であり、私にとっても初めての経験で驚きと不安があり、その中でも、奇異に感じるばあーちゃんの行動にはそれぞれ理由があることを、教えられた。その理由を知らずして、怒ったり不安感を持ったりしてはいけない。常に寄り添うことが必要である。

今号は「⑨使用済おむつの処分の難しさ」の続きから始める。

布が紙に変わっただけ？

ばあーちゃんには「紙パンツは特別のものではなく、これまでの布が紙に変わっただけ」と説明していた。最近の紙パンツは、デザインもきれいで遠目には、普通のパンツに過ぎない。

この紙パンツがおむつであるという認識を持たないばあーちゃんは、濡れた使用済みのパンツをどのように扱ったか。

まずは、ハンガーに掛けて干したことは前号の通り。そして必ず、高分子吸水ポリマーをむしり取っていた。

そのむしり取りは、ばあーちゃんが考えた末での行動であった。直接見たわけではないので一部は推測が入るがほぼ正しい。

紙パンツの使い始めのある日のこと。ばあーちゃんは、濡れたパンツを洗濯機に投げ入れ、蓋を閉め、これまでの布パンツの通り、汚れ物として自分で洗濯したのである。

このころはまだ自分である程度のことは出来ていたから、洗濯することは、苦も無く行っていた。

洗濯の完了を伝えるブザーが鳴り、ばあーちゃんは洗濯機の蓋を開けてパンツを取りだした。それを見て驚いた。

クロッチ（股間）部分がパンパンに膨れており、手で持てないくらい重くずっしりとしていたからである。ばあーちゃんは原因がわからず、オロオロ状態であった。

この原因は、皆さんはすでにお分かりのことと思うが、吸水ポリマーが洗濯機の水を吸っていたのである。この世代の人は「吸水ポリマー」という物の存在を知らない。

ばあーちゃんが吸水ポリマーと戦う

処置に困ったばあーちゃんは、“ぶわー”と膨れた原因がわからないまま、倉庫の横のお日様の当たるところに置いておいた。しばらくたって見に行ってもクロッチ部分が小さくなる気配はない。

そこで膨れた部分を、手近にあった鎌で切り開いてみたら、“どろーん”としたものが出てきた。ばあーちゃんはそれを見て、驚きとともに悟った。

“洗濯する前に、尿で汚れた部分を取り除いておけばいいのでは・・・”

このころは、常態的に失禁をしておらず、尿意もあったので、トイレで用を済ませており、まだ1日に何回もパンツを交換していたわけではなかった。

ばあーちゃんはトイレの便器に跨り、用を足しながら驚きの行動に出た。クロッチ部分をむしり始めたのである。粉がパラパラ落ちていく。それを拾い集めて便器の中に投げ込む。投げ入れると白い粉は透明になって無くなったように見える。

“そうか！こうすれば洗濯機の中で膨れなくて済むのか！”

ところが便器の中では、大事件が起きていた。

次の日、朝早くやってきたヘルパーさんが、

「トイレが流れないんですよー。昨日はちゃんと流れていたのに」

というので、半信半疑で私も流してみた。流れはしているが、ゆっくりで、いつもの“ゴボツ”という音がしない。

ヘルパーさんの勘

その時、ヘルパーさんが、

「この白い粉は何かしら・・・。もしかしたら！」

ヘルパーさんの勘は鋭かった。

「ほかのおうちでも、同じことがありましたよ。尿取りパッドをトイレに流し、ポリマーが膨れて便器を分解修理しなければならなかったんですよ。」

これは大変だ！ということで便槽管理会社へ電話したら、大騒ぎになり、ばあちゃんにつらい思いをさせてしまったのである。

そこで前号で説明した注意書きの張り紙の出番。この一件以降、張り紙のおかげで便器内へのポリマー投入はなりを潜めたが、ばあちゃんの洗濯行為は続いた。でもポリマーが膨れることはなかった。



保管枚数が減ると洗濯が増える。

では、ポリマーはどこにいったのか？

ある日、偶然その現場に出くわした。テレビを見ながら、クロッチ部分をむしり取っていた。

「ばあちゃん！そんなことしなくていいんだよ。このパンツは使い捨てタイプだから。すごく安いんだよ。心配しなくていいから！」

「そうかい！」

と言って恥ずかしそうにゴミ箱へ捨てた。

それでも、ばあちゃんの洗濯は続いた。

何故か？

洗濯は恥ずかしさと不安から

ヘルパーさんはあることに気づいた。パンツは、販売店から買ってきたままのメーカーの大きなビニール袋に入っているが、数が少なくなるとポリマーをむしるようだ。

残り少なくなると不安になり、再生しようとしているのではないかとヘルパーさんは考えた。

そこでビニール袋には減った分だけ補う定量管理をすることにした。

これは見事に当たった。袋いっぱいに入っていると、恥ずかしいと思う。すくないと不安に思う。半分程度だと丁度よいことも分かった。

私は、干したのを見つけ次第、ばあちゃんの目につくようにゴミ箱の横に置くことにした。“ここに捨ててね！”という私からのメッセージである。

やがて、濡れたパンツはゴミ箱の横の隙間に隠すように置くようになった。私の仕事は、はそれを掴まんでゴミ箱に入れるだけで済むようになった。



隠すように隙間に置いている。

吸水ポリマーは文明の力であるが、ばあちゃんにとっては、やっかいものであった。おそらく今でも理解していないのではないだろうか。

厚手のズボンが好き？

紙パンツをはくようになって もう1つ大きな変化があった。それはズボンである。

おしっこが漏れると股の部分から足先にかけて、ズボンの色が黒ずんで変わる。ばあちゃんもこの色の変化はしっかりと認識しており、“おしっこが漏れている”と周囲の人に悟られるのが恥ずかしいと思っているようだ。

昨年夏ごろから、暑くても厚手の、しかも黒色や茶色のズボンを好んで履くようになった。夏用のズボンは生地が薄くて明るい色使いで見た目にも涼しさを感じる。このため漏れた場合、生地が水を含むことなく一気に足元まで黒い筋ができる。厚めの生地だと吸水し、ゆっくりと流れ落ち、薄っすらと色が変わり、その上、黒い生地だとほとんど分からない。これは生活の知恵か？

確かに濡れても判りにくい。しかし厚手の生地は、膝部分が曲がりにくく高齢者にとって歩きにくいので、好んで枚数を多く持たない。

ばあちゃんは、濡れても厚手のズボンの替えが少ないので、パンツは交換してもズボンは履き替えない。そのため臭いが残る。

それに気づいたヘルパーさんが、色濃くても厚手のズボンを買って増ししてくれた。ヘルパーさんは

「同じズボンだと、どれが使い終わったものなのか分かり難いので、生地や見た目を変えましたよ。」とそっと耳打ちしてくれた。

たかがパンツの話だけれど。大きな尊厳の問題が潜んでいる。(次号へ続きます。)

令和4年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業

9月3日 フォーラムの報告

令和4年度福岡県ノーリフティングケア普及促進事業

ノーリフティングケアフォーラム ～どんなケア？なぜ必要？～

令和4年9月3日(土) 10:00～17:00
会場：クローバープラザ クローバーホール・西棟5階研修室等

福岡県では、ノーリフティングケア普及促進事業に取り組み、3年目を迎えました。今、県内には、35のモデル施設が「持ち上げない・抱え上げない・引きずらない」ケアを目指して取り組んでいます。そして、職員の腰痛も確実に減少しています。そこで、今回はノーリフティングケアの必要性や取り組み方を多くの介護施設の皆様に知っていただきたいとフォーラムを開催いたします。基調講演やノーリフティングケアに必要な福祉用具の紹介および体験コーナーを設けています。是非、会場にお越しください。

特別講演①
10:10～11:10
京都市立看護専門学校 理学療法学科 教授 村田伸
演題：「介護職員の腰痛予防対策 福岡県内高齢者施設 35施設・介護職員1214人の調査報告」

特別講演②
13:00～14:30
びわこリハビリテーション専門職大学 教授 坪田史太郎
演題：「福祉・介護現場を変える ノーリフティングの取り組み」

午前の部 場所：ホワイエ / 西棟5階
10:00 主催者挨拶
10:10 特別講演①
11:15 地域連絡協議会のご案内

午後の部 13:00 特別講演②

「福祉用具紹介と体験」のコーナー
活動の紹介と参加のご案内

ノーリフティングケアに役立つ福祉用具の紹介
その使い方と体験コーナーで実際に指導を受けられます。



お問い合わせ先：〒825-8585 福岡県田川市伊字4395番地 福岡県立大学内(3号館1階)
特定非営利活動法人 NPO福祉用具ネット(担当:大山) TEL/FAX: 0947-42-2286

事前申込者 165名の内、当日参加者数 109名
展示企業関係者及び講師・スタッフなど関係者 43名

クローバーホール前 総合受付



西棟5階 体験コーナー 受付
講師の皆様と事前打ち合わせ



西日本新聞記者さん対応



体験コーナーは、講師・技術認定チェック合格者・企業の皆様 合計22名で対応

司会進行役は櫻木講師

午前、村田伸教授の講演、午後は坪田和史教授の講演

体験コーナー
リフトの使い方の基本確認と講習



体験コーナー
スタンディングリフトの構造と特徴



体験コーナー
ペット 移動リフト



介護ベッド 車椅子 ヨカロの紹介



感染対策のために、体験希望者118人を事前に18グループに分けて時間ごとに誘導するように調整して、各コーナー約15分～20分程度で体験するという計画で実施しました。



17版 2022年(令和4年)9月4日 日曜日

介護職員7割が腰痛 春日市で県がフォーラム

「抱え上げない介助を」

村田伸教授による、県内の介護職員の腰痛実態に関する講演

フォーラムは県民の注目を集めた。腰痛は介護職員の心身の健康を脅かす。抱え上げない介助を推進する。腰痛に関する調査の結果、介護職員の7割近くが腰痛に悩んでいることが明らかになった。

腰痛は介護職員の心身の健康を脅かす。抱え上げない介助を推進する。腰痛に関する調査の結果、介護職員の7割近くが腰痛に悩んでいることが明らかになった。

腰痛は介護職員の心身の健康を脅かす。抱え上げない介助を推進する。腰痛に関する調査の結果、介護職員の7割近くが腰痛に悩んでいることが明らかになった。

この先のホールにて
福祉用具展示中

ご自由にご覧ください

施設で役立つ福祉用具紹介コーナー

- 空気浄化装置・換気装置
- 車椅子補助具(各々ゴキリアス)
- 移動ボードつばさ
- 靴履センサー(ベッドセンサー・マットセンサー)
- ポータブル洗浄機「せりり洗浄」

**アンケートを拝見して気付いたこと
施設の皆さんの福祉用具に対する注目度アップ!!**

地域連絡協議会の仲間に入りませんか!

8月4日 筑豊地域の連絡協議会

今日のお客さんは筑後地域から、桜の丘の入江さん。貴重なご意見を頂きました。今度は、筑豊地域からの恩返しを待っていただきたいね。

8月5日 筑後地域の連絡協議会

筑後地域も団結しました! 🇯🇵

席かに方法はない? (ソファから運出す移乗)

1期生桜の丘のリーダー入江さんからは、先輩施設として取り組んだ腰痛対策の実践例を紹介していただきました。

水のいった雑巾バケツが重たく移動させるので負担がある

腰痛リスクマネジメント
オンラインの45分ごみ感じばに学ぶ交換をしたごみが入るととても重たくごみ箱から出すのが大変

移動させるのは大変
ごみ箱を押し出すのは大変
移動させるのは大変
移動させるのは大変

8月8日 福岡地域の連絡協議会

福岡地域の団結サークルは、(愛したたくさん)の愛情を持って、仲間たちと「こころ」のSマークに即決定!

事前に話し合いのテーマをSlackで募集。職場で今困っている事や先輩施設に聞きたい質問事項を中心に進行。本日の進行役は、1期生の二丈福祉会の持田さんが担当していただきました。持田さん、とても素晴らしい司会進行。いつも頼れる持田さんに改めて感激と感謝。本当にありがとうございました。

9月7日 北九州地域の連絡協議会

施設への新型コロナウイルスの感染はとも深刻。感染してなくても濃厚接触者となれば仕事ができない、人手不足の現状の中、さらに追い込まれる現場。北九州地域はそんな中でノーリフティングケアの教育の進め方や、現場での成功事例や失敗事例の共有をしました。本音で語りあえる場。先輩施設も新規の施設も互いに参考になるお話がたくさんありました。

こんな貴重なお話、もっと多くの方に伝えて欲しいな!

新しくノーリフティングケアに取り組みたい施設の皆様をサポートします。

福岡県ノーリフティングケア 地域連絡協議会活動への参加申込書

施設からのお申込みを歓迎いたします。
(但し、やむを得ない事情がある場合は個人参加でも可能)

参加希望地域を選んでください!

参加希望地域 筑豊 筑後 北九州 福岡

名前	※のりか	職種
施設・事業所名		部署
住所	〒	
電話番号		
F A X		
E-mail	連絡やZOOMのご案内に利用しますので必ず記載してください。	

必ずメールでお申し込みください!

メール宛先 npo-fukusiyougnet@sage.ocn.ne.jp

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業に取り組んで感じた事。

NPO 福祉用具ネットが発足して20年あまり・・・。

これまで、さまざまな研修会を開催してきました。しかし、学んだことは、個人の知識や技術として高めることしか出来ていなかったのではないかと感じていました。

今回、モデル施設として各施設単位で研修を進めることで、明らかにケアが変化していきました。施設の管理者も職員も同じ方向をみて動き始めることで、学んだ技術が少しずつ職場に浸透していくことが実感できました。福祉用具が揃っていないにしてもスタートした施設もありました。まずは、グローブとシートとボード各1枚ずつからでも良いのでスタートしませんか?・・・、そこからスタートしている施設さんも、しっかりと一歩を踏み出しています。職場全体で取り組むことによって、必ず変わりますよ。あなたの職場も是非、挑戦しませんか!

技術力強化研修 4回目を開催！ 対面研修の感染対策の徹底

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
2期生のための技術強化研修 4回目
令和4年9月23日・24日
スタンディングリフト体験

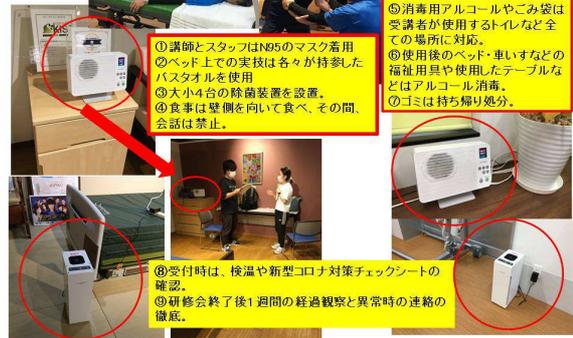
ノーリフティングケアを助けてくれる
福祉用具の理解も大切な課題。
10機種を体験する貴重な学びができました。



北九州・筑豊地域

福岡・筑後地域

実技研修の感染対策



①講師とスタッフはN95のマスク着用のベッド上での実技は各々が持参したハスタオルを使用。
②大小4台の除菌装置を設置。
③食事は壁側を向いて食べ、その間、会話は禁止。

④消毒用アルコールやゴミ袋は受講者が使用するトイレなど全ての場所に対応。
⑤使用後のベッド・車いすなどの福祉用具や使用したテーブルなどはアルコール消毒。
⑥ゴミは持ち帰り処分。

⑦受付時は、検温や新型コロナ対策チェックシートの確認。
⑧研修会終了後1週間の経過観察と異常時の連絡の徹底。

マネジメント力強化研修も頑張っています！ ～ 継続は力なり！！ ～

組織にノーリフティングケアを定着するために必要な補修研修です。

8月23日 指導者育成コース
第2回マネジメント力強化研修を
開催しました。

講師は佐々木講師と白石講師



マネジメントについての基本的な考え方を学びました。改めて、目標の立て方や行動計画の立て方を学びました。今後の取り組みに役に立つ学びの機会でした。

筑後地域と福岡地域の2期生が対象。

今回は、特別聴講生として3期生の希望施設にも呼びかけをし、5施設が参加されました。

8月25日 指導者育成コース

第2回マネジメント力強化研修後半の地域 筑豊と北九州地域を開催しました。講師は佐々木講師と白石講師

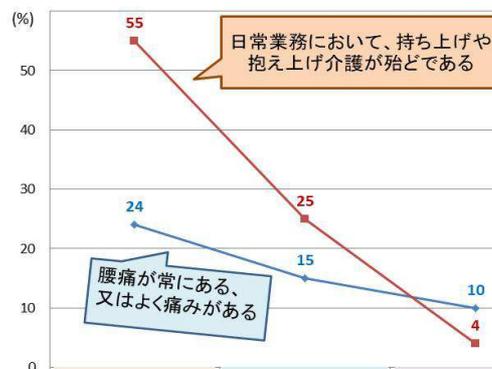
今回も特別参加として、1期生と3期生の3施設が参加

アンケートから一部ご紹介
・マネジメント研修に活かせる内容であったため、次回の研修にいかしていく。
・目的目標の違い、行動計画の重要性など整理できました。
・先生の説明が分かりやすく楽しく学べました。
・とても参考になる内容ばかりでした。



6月取組前の腰痛及び抱え上げ介護の現状調査結果

令和4年度福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
モデル施設 1期生・2期生・3期生の腰痛及び抱え上げ介護の現状
(令和4年6月取組み開始前の介護職員への調査結果より)



施設数と調査対象介護職員数	3期生13施設 410名	2期生11施設 317名	1期生11施設 381名
---------------	--------------	--------------	--------------

3期生 取組前スタート時

常に腰痛がある 平均 24%
常に抱え上げ介護を行っている 平均 55%

2期生 取組1年後

常に腰痛がある 平均 15%
常に抱え上げ介護を行っている 平均 25%

1期生 取組2年後

常に腰痛がある 平均 10%
常に抱え上げ介護を行っている 平均 4%

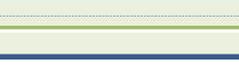
半年後には、どのように変化するのでしょうか？

マネジメント研修3回目にもなると、3期生も慣れてきましたよー!



介護施設のコロナの感染問題はとても深刻です。職員のご家族に感染者ができれば濃厚接触者として出勤も出来ません。人材不足の中、さらに人手不足は深刻になります。そして、この問題はどこの施設も同様。同じ法人内で助け合ったり、施設の管理職も最前線で応援したり・・・そんな中での本事業の取り組みです。立てた計画通りには進まないと悲痛な叫びが何度も届きました。マネジメント研修で具体的に作成した行動計画を何度も中断し、そして修正をしながらモデル施設の皆さんは諦めないで前を向いて頑張っています。

ノーリフティングケア講師見習いのご紹介 只今 勉強中。

	特別養護老人ホーム 明日香園。	竹山氏。
	特別養護老人ホーム 本陣園。	川端氏。
	特別養護老人ホーム 桜の丘。	入江氏。
	介護老人保健施設 さわら老健センター。 (現、介護老人保健施設 ケアセンターひまわり苑)。	瓜生氏。
	特別養護老人ホーム ねむのき。	國領氏。
	特別養護老人ホーム 仙寿苑・ <u>はまぼう</u> 。	持田氏。
	特別養護老人ホーム 誠光園。	中武氏。
	特別養護老人ホーム ふじの木園。	山野氏。

今年度から講師見習いとして学んでいる8名の皆様です。これまで取り組んできた実践者としての経験を活かした助言は、適切で分かりやすいようです。

具体的には、マネジメント研修のグループワークに入り、個別対応での助言を担当していただいています。今までは受講者の立場、今年度からはアドバイザーの立場。何事も一歩一歩新たに挑戦をしていくことが大切だと思います。期待通りに、とても頼もしい存在になってくれています。

事務局だより

〈令和4年7月から9月までの事務局のうごき〉

◇令和4年7月

情報誌80号発行・発送

腰痛調査1期生・2期生・3期生のまとめ

NPO 法人役員変更届 法務局とNPOセンター手続き

- 7月1日・4日・5日・6日 地域連絡協議会
- 7月1日 6月技術力研修のアンケート入力完了
- 7月2日 役員変更届提出完了
- 7月3日 ホームページ更新 アンケート編集等
- 7月5日 チラシ等の確認
- 7月6日 6月マネジメント研修と実技研修の報告書提出
- 7月7日 モデル施設一覧表を作成
- 7月11日 腰痛アンケート集計作業
フォーラムのチラシデザイン検討
- 7月12日 フォーラム企業様と打ち合わせ
腰痛調査の結果をモデル施設に送付
フォーラムのチラシ確定
地域連絡協議会のまとめ、県に報告
- 7月14日 フォーラムの案内発送準備
- 7月19日～22日 マネジメント研修2回目
- 7月19日 地域連絡協議会のチラシ公開
- 7月23日・24日 2期生技術力強化研修
- 7月25日 モデル施設の提出物の整理
- 7月26日 アンケート入力作業
- 7月28日 開発相談
- 7月29日 開発相談 7月技術及びマネジメント研修報告完了

◇令和4年8月

- 8月5日 開発相談
- 8月6日 村田講師と講演打ち合わせ
- 8月4日・5日・8日 地域連絡協議会
- 8月10日 クローバープラザ会場打ち合わせ
- 8月18日・19日・20日 3期生実技研修
- 8月23日・25日 2期生マネジメント強化研修
- 8月26日 開発会議

◇令和4年9月

- 9月2日 フォーラム会場福祉機器搬入
- 9月3日 ノーリフティングケアフォーラム
- 9月4日 設営の荷物の後片づけ
- 9月5日 フォーラムの結果の纏め
- 9月6日 申込者に動画配信の案内
- 9月7日 地域連絡協議会北九州地域
- 9月7日から アンケート入力作業
- 9月8日 モデル施設に配布資料送付
- 9月9日 8月の技術動画をモデル施設に送付
- 9月10日 フォーラムのアンケート結果を関係者

に送付

- 9月12日 事例相談
- 9月13日～16日 マネジメント研修 3回目
- 9月15日 事例相談
- 9月16日 マネジメント力強化研修計画書講師
確認済みにて返送
- 9月20日 実技研修準備 開発相談
- 9月21日 マネジメント研修アンケート入力完成
開発相談
- 9月22日からマネジメント研修記録用紙返却
- 9月23日・24日 2期生実技研修
- 9月26日 マネジメント研修のまとめ
実技研修アンケート入力
- 9月27日 開発会議
- 9月28日 福岡県庁にて打ち合わせ
- 9月30日 開発会議 地域連絡協議会の打合わせ

◇令和4年10月からの予定

情報誌ささえ81号発行

- 10月3日 講師打ち合わせ
- 10月11日～14日 第4回地域連絡協議会
- 10月15日～17日 3期生のための実技研修2回目
- 10月28日・29日 2期生実技研修
- 11月8日・10日 マネジメント力強化研修
- 11月14日～17日 第5回地域連絡協議会
- 11月21日・22日・24日・25日
マネジメント研修4回目
- 12月19日～22日 マネジメント研修4回目

20周年記念イベント『第1弾』 ノーリフティングケア技術研修会を開催 1日目

日時：11月5日（土）9時～17時
受講対象者：福岡県立大学看護学部の学生の
希望者

講師 NPO 福祉用具ネット理事の山形講師他、
技術認定チェック合格者が補助講師として各
ベッドサイドにて個別指導を担当いたします。

2日目

日時：11月6日（日）9時～17時
受講対象者：NPOの会員の皆様で技術認定チ
ェックに合格をされている方に限定。
詳しくは、関係者にご案内致します。

今後、コロナの感染状況を踏まえて、20周年
記念イベントを順次企画予定。